令 和 7 年 度

仙台市自動車運送事業会計決算の大要

仙 台 市 交 通 局

令和７年度仙台市自動車運送事業の概況と決算の大要

１　事　業　の　概　況

本年度の自動車運送事業は，本市公共交通ネットワークにおけるお客様の身近な移動手段として，厳しい経営状況の中，持続可能な事業運営を目指し，「仙台市交通事業経営計画」に基づく各種取組みを進めてまいりました。

安全運行の確保の取組みとして，外部専門機関による研修を活用し，乗務経験の浅い運転士やベテラン運転士を対象とした研修等を新たに実施するなど，更なる安全意識の向上に努めました。また，施設設備の計画的な維持更新の取組みとして，老朽化した川内営業所の建て替えを引き続き進めるとともに，安定的な稼働維持を目的として，ＩＣ乗車券バスシステムのサーバー機器等の更新を実施しました。

利用しやすい環境整備の取組みとして，バス待ち環境の向上のため，バス停留所上屋や電照式バス停留所標識の設置を継続するとともに，バス車両のＬＥＤ行先表示器について，より視認性に優れた白色ＬＥＤへの更新を完了しました。

公共交通の利用促進の取組みとして，家族連れの利用喚起等を目的に，小児運賃無料化制度（「ハッピー・ファミリー・ライド」）の本格導入に向けた実証実験について，実施期間を拡大して行ったほか，「仙台ＭａａＳ」にて，土日祝日限定で市バス全区間が一日乗り放題となるデジタルＱＲ企画乗車券（「休日のんびりバス旅きっぷ」）について，実証実験として販売しました。

経営の健全化の取組みとして，バス運転士不足の課題にも対応するため，令和７年４月ダイヤ改正において，需要動向に応じた便数調整を実施するとともに，コロナ禍を経て近年の急激な経営環境の変化の中，将来にわたり持続可能な経営を確立することを目的に，新たな交通事業経営計画（「仙台市交通事業経営計画 2026-2035」）を策定しました。

本年度における運輸成績は，次表のとおりであります。

区　　分	令和7年度	令和6年度	比較	
			増 減（ △減 ）	比 率（ ％ ）
在　籍　車　両　数（　両　）	458	462	△　4	99.1
うちノンステップバス	442	443	△　1	99.8
使　用　車　両　数（　両　）	140,260	141,494	△　1,234	99.1
走行キロメートル（ 千km ）	15,441	15,569	△　128	99.2
乗　車　人　員（ 千人 ）	35,177	34,530	647	101.9
定　期　外	22,581	22,218	363	101.6
定　　期	12,596	12,312	284	102.3
乗　車　料　収　入（ 千円 ）	6,116,699	6,057,407	59,292	101.0
定　期　外	4,568,416	4,545,853	22,563	100.5
定　　期	1,548,283	1,511,554	36,729	102.4

（注）乗車料収入は，消費税及び地方消費税抜きの額であり，敬老乗車証負担金及びふれあい乗車証負担金等を含む。

２　決　算　の　大　要

本年度は,前年度に比較して通勤定期利用者の増等により,乗車人員が 1.9 パーセントの増となり,乗車料収入も 1.0 パーセントの増となりました。また，収益的収支については 39,639 千円悪化し，1,158,964 千円の純損失となりました。

この結果，当年度未処理欠損金は 10,593,669 千円となっております。

(1) 収益的収入及び支出

収　　益　　的　　収　　入

（単位　千円）

区分 / 科目	予算額			決算額	増減（△減）
	当初予算額	補正予算額（△減）	計		
自動車運送事業収益	10,119,426	39,829	10,159,255	10,031,576	△ 127,679
営業収益	6,922,673	0	6,922,673	6,873,272	△ 49,401
運送収益	6,631,051	0	6,631,051	6,583,690	△ 47,361
運送雑収益	291,622	0	291,622	289,582	△ 2,040
営業外収益	3,195,753	39,829	3,235,582	3,158,304	△ 77,278
受取利息及び配当金	349	0	349	2,009	1,660
他会計補助金	3,006,459	66,960	3,073,419	3,073,079	△ 340
国庫補助金	0	1,829	1,829	1,818	△ 11
消費税及び地方消費税還付金	115,224	△ 28,960	86,264	0	△ 86,264
長期前受金戻入	47,862	0	47,862	48,842	980
雑収益	25,859	0	25,859	32,556	6,697
特別利益	1,000	0	1,000	0	△ 1,000
過年度損益修正益	1,000	0	1,000	0	△ 1,000

（注）収益的収入は，消費税及び地方消費税込みの額である。

収益的収入予算は，当初 10,119,426 千円を計上いたしましたが，営業外収益 39,829 千円を増額補正いたしましたので，最終予算額は 10,159,255 千円となりました。

これに対する決算額は 10,031,576 千円となり，予算額に比べ 127,679 千円の減収となりました。

収　益　的　支　出

（単位　千円）

区分／科目	予算額					決算額	不用額
	当初予算額	補正予算額（△減）	予備費支出額	流用増減額（△減）	計		
自動車運送事業費用	12,012,718	△ 338,000	0	0	11,674,718	11,133,172	541,546
営業費用	11,887,402	△ 321,000	0	0	11,566,402	11,080,963	485,439
運転費	7,646,004	△ 274,000	0	0	7,372,004	7,092,640	279,364
車両保存費	1,844,294	△ 9,000	0	0	1,835,294	1,732,832	102,462
その他保存費	23,747	0	0	0	23,747	20,333	3,414
自動車重量税	18,527	0	0	0	18,527	18,303	224
運輸管理費	908,561	△ 11,000	0	0	897,561	854,158	43,403
厚生福利施設費	24,331	△ 5,000	0	0	19,331	16,079	3,252
一般管理費	328,176	△ 22,000	0	0	306,176	255,036	51,140
減価償却費	1,093,762	0	0	0	1,093,762	1,091,582	2,180
営業外費用	74,316	△ 17,000	0	0	57,316	52,209	5,107
支払利息及び企業債取扱諸費	73,316	△ 17,000	0	△ 5,310	51,006	46,853	4,153
消費税及び地方消費税	0	0	0	5,310	5,310	5,310	0
雑支出	1,000	0	0	0	1,000	46	954
特別損失	1,000	0	0	0	1,000	0	1,000
過年度損益修正損	1,000	0	0	0	1,000	0	1,000
予備費	50,000	0	0	0	50,000	0	50,000
予備費	50,000	0	0	0	50,000	0	50,000

（注）1 収益的支出は，消費税及び地方消費税込みの額である。

2 資金不足額の解消に充てるため，交通事業債（経営改善推進事業）800,000 千円を借り入れた。

収益的支出予算は，当初 12,012,718 千円を計上いたしましたが，営業費用 321,000 千円，営業外費用 17,000 千円をそれぞれ減額補正いたしましたので，最終予算額は 11,674,718 千円となりました。

これに対する決算額は 11,133,172 千円（人件費 3,758,122 千円，経費 6,231,259 千円，減価償却費 1,091,582 千円，営業外費用 52,209 千円）となり，不用額は 541,546 千円となりました。

(2) 資本的収入及び支出

資　本　的　収　入

（単位　千円）

区分 / 科目	予算額				決算額	増減（△減）
	当初予算額	補正予算額	繰越額	計		
自動車運送事業資本的収入	2,006,728	0	87,000	2,093,728	1,048,869	△ 1,044,859
企業債	1,546,000	0	87,000	1,633,000	590,000	△ 1,043,000
出資金	444,000	0	0	444,000	444,000	0
他会計補助金	9,328	0	0	9,328	7,469	△ 1,859
県補助金	7,400	0	0	7,400	7,400	0

（注）資本的収入は，消費税及び地方消費税込みの額である。

資本的収入予算は，当初 2,006,728 千円を計上いたしましたが，最終予算額は前年度繰越額 87,000 千円を含め 2,093,728 千円となりました。

これに対する決算額は 1,048,869 千円となり，予算額に比べ 1,044,859 千円の減収となりました。

資　本　的　支　出

（単位　千円）

区分 / 科目	予算額						決算額	翌年度繰越額	不用額
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	繰越額	計			
自動車運送事業資本的支出	2,833,980	0	0	0	87,885	2,921,865	1,850,695	782,396	288,774
建設改良費	1,575,529	0	0	0	87,885	1,663,414	623,096	782,396	257,922
建物	853,569	0	0	0	16,108	869,677	93,514	664,774	111,389
車両	6,600	0	0	0	0	6,600	2,970	0	3,630
機械装置	69,696	0	0	0	0	69,696	0	69,696	0
工具・器具・備品	375,386	0	0	0	0	375,386	358,545	0	16,841
構築物	247,420	0	0	0	71,777	319,197	150,003	47,926	121,268
その他無形固定資産	18,556	0	0	0	0	18,556	14,838	0	3,718
リース資産	4,302	0	0	0	0	4,302	3,226	0	1,076
企業債償還金	1,227,441	0	0	0	0	1,227,441	1,227,441	0	0
企業債償還金	1,227,441	0	0	0	0	1,227,441	1,227,441	0	0
投資	1,000	0	0	0	0	1,000	158	0	842
その他投資	1,000	0	0	0	0	1,000	158	0	842
その他資本的支出	10	0	0	0	0	10	0	0	10
その他資本的支出	10	0	0	0	0	10	0	0	10
予備費	30,000	0	0	0	0	30,000	0	0	30,000
予備費	30,000	0	0	0	0	30,000	0	0	30,000

（注）資本的支出は，消費税及び地方消費税込みの額である。

資本的支出予算は，当初 2,833,980 千円を計上いたしましたが，最終予算額は前年度繰越額 87,885 千円を含め 2,921,865 千円となりました。

これに対する決算額は 1,850,695 千円となり，建設改良費 782,396 千円を翌年度へ繰り越しましたので，不用額は 288,774 千円となりました。

また，資本的収入額が資本的支出額に不足する額 801,826 千円は，過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 111,460 千円，当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 55,000 千円で補てんし，なお不足する額 635,366 千円については，一時借入金等をもって措置いたしました。

(3) 損 益 計 算 書

比 較 損 益 計 算 書

（単位　千円）

費用の部				収益の部			
区分 / 科目	令和7年度	令和6年度	増減	区分 / 科目	令和7年度	令和6年度	増減
営業費用	10,545,788	10,166,014	379,774	営業収益	6,385,852	6,354,369	31,483
営業外費用	156,322	123,270	33,052	営業外収益	3,157,294	2,815,590	341,704
				小計	9,543,146	9,169,959	373,187
				当年度純損失	1,158,964	1,119,325	39,639
計	10,702,110	10,289,284	412,826	計	10,702,110	10,289,284	412,826

（注）損益計算書は，消費税及び地方消費税抜きの額である。

当年度の総収益は 9,543,146 千円で，前年度に比較して 373,187 千円増加しておりますが，これは乗車料収入の増等による営業収益の増31,483千円,他会計補助金の増等による営業外収益の増341,704千円によるものです。

また，総費用は10,702,110千円で，前年度に比較して412,826千円増加しておりますが，これは人件費の増等による営業費用の増379,774千円，支払利息の増等による営業外費用の増33,052千円によるものです。

以上により，当年度は1,158,964千円の純損失となりました。

(4) 剰余金計算書及び欠損金処理計算書

資本剰余金については，当年度発生高はなく，当年度末残高は366,970千円となりました。

欠損金については，前年度未処理欠損金は 9,434,705 千円であり，前年度欠損金処理額はなく，当年度は純損失1,158,964千円を計上いたしましたので，当年度未処理欠損金は10,593,669千円となりました。

なお，欠損金処理額はなく，そのまま翌年度へ繰り越しております。

(5) 貸 借 対 照 表

比 較 貸 借 対 照 表

（単位　千円）

資産の部				負債・資本の部			
区分 / 科目	令和7年度	令和6年度	増減（△減）	区分 / 科目	令和7年度	令和6年度	増減（△減）
固定資産	7,093,983	7,660,897	△ 566,914	固定負債	7,505,205	7,495,077	10,128
流動資産	1,654,924	2,385,385	△ 730,461	流動負債	3,338,836	3,899,026	△ 560,190
				繰延収益	345,366	377,715	△ 32,349
				資本金	7,786,199	7,342,199	444,000
				剰余金	△ 10,226,699	△ 9,067,735	△ 1,158,964
計	8,748,907	10,046,282	△ 1,297,375	計	8,748,907	10,046,282	△ 1,297,375

（注）貸借対照表は，消費税及び地方消費税抜きの額である。

資産については，前年度 10,046,282 千円に比較して 1,297,375 千円減少しておりますが，これは減価償却等による固定資産の減 566,914 千円と現金及び預金の減等による流動資産の減 730,461 千円によるものです。

なお，用地の内訳につきましては別表のとおりであります。

負債・資本においても前年度に比較して 1,297,375 千円の減少となっております。固定負債は引当金の増等により 10,128 千円の増，流動負債は未払金の減等により 560,190 千円の減，繰延収益は長期前受金の減により 32,349 千円の減，資本金は一般会計からの出資により 444,000 千円の増，剰余金は当年度純損失の計上により 1,158,964 千円の減となりました。

以上が，令和 7 年度仙台市自動車運送事業会計決算の大要であります。

別　表

用　地　内　訳　表

令和8年3月31日現在

区　分	所　在	面　積 (㎡)	帳簿価額 (千円)	使用目的	備考
営業所用地	仙台市宮城野区燕沢一丁目158-2外 仙台市若林区かすみ町212-3外 仙台市太白区長町五丁目25-1外 仙台市泉区実沢字宮西8外	11,569 15,970 10,227 17,237	75,512 308,829 66,441 316,599	東仙台 霞の目 長町 実沢	
	小　計	55,003	767,381		
出張所用地	仙台市泉区八乙女中央三丁目1-1 仙台市青葉区上愛子字下十三枚田30-1	5,528 6,737	8,371 10,887	七北田 白沢	
	小　計	12,265	19,258		
駐車場用地	仙台市青葉区支倉町104-2 仙台市若林区新寺一丁目1-10外	4,787 6,080	1,346 1,298,554	木町通 新寺	
	小　計	10,867	1,299,900		
回転場用地	仙台市泉区長命ケ丘二丁目6-20外 仙台市太白区緑ケ丘三丁目30-8外 仙台市青葉区貝ケ森三丁目26-33 仙台市宮城野区岩切字洞ノ口東3-9 仙台市宮城野区蒲生字前通15外 仙台市太白区四郎丸字芳塚7-5外 仙台市太白区茂庭台一丁目3-5外 仙台市泉区西中山二丁目15-4 仙台市泉区館四丁目101-44 仙台市若林区霞目二丁目426-4 仙台市泉区住吉台西三丁目19-4 仙台市太白区秋保町境野字上戸47-4 仙台市若林区荒浜字新堀端31-6	498 556 217 422 1,392 454 1,162 1,689 1,050 331 1,062 446 383	18,323 14,727 12,240 19,738 51,667 8,523 30,091 64,300 51,870 34,651 67,496 4,841 1	長命ケ丘 緑ケ丘 貝ケ森団地 岩切 岡田 四郎丸 茂庭台 西中山 泉ビレジ 霞の目 住吉台 秋保境野 旧荒浜小学校前	
	小　計	9,662	378,468		
その他用地	名取市高柳字山神259-3外 仙台市太白区茂庭台三丁目31-3 仙台市泉区南光台一丁目156-508外 仙台市太白区東郡山一丁目488-107外 名取市植松字宮島84-1外 仙台市青葉区中央二丁目10-20 仙台市泉区明通四丁目1-1 仙台市青葉区南吉成四丁目1-1外 仙台市宮城野区蒲生字前通14-1外	1,728 5,472 496 74 11,603 275 13,226 828 4,145	15 14,258 32,176 4,216 50,456 638 31,500 33,463 86,468		
	小　計	37,847	253,190		
合　計		125,644	2,718,197		